

平成 26 年度静生市参委第 7 号協働パイロット事業

「日本平動物園マニアガイド」作成事業業務

いきもの企画

## 1 事業の目的・趣旨

動物園とはレジャー施設としてだけではなく、学習の場として市民に利用されるべき施設だと考えている。

しかし来園者が多い時には、ガイドツアーで説明を聞いたり、園内に掲示された情報を見たりするのも限界が出てくるのではないか。

そういった学習での満足度は、ソフトの面でこそ補えると考えます。

また、いきものを見て、単純に「かわいい」「かっこいい」と感じる気持ちから、もっと知りたいという興味をふくらませ、より深い理解をされるべきだと考えている。

残念なことに、子供より大人の方がそういった見方をしないで、あっさりと通り過ぎていくことが多いように見受けられる。

そこで私たちは、日本平動物園における大人を対象にした、ややマニア向けな楽しみ方を提供できる冊子の作成・配布を提案した。

昨年度のパイロット事業で得たご意見・ご感想を活かし、紙の冊子と同時に、電子書籍版も並行して作成し、より多くの人に様々な方法で手にとってもらえるようにする。

この事業で、来園者に日本平動物園の新たな楽しみ方を知ってもらい、「動物園は何度来ても楽しめる」という大人のリピーターを増やすことを目指す。

また、「動物園から学べることがある」「知ることは楽しいことだ」ということを知ってもらい、「かわいい・かっこいい」の先にある好奇心や学びに目を向けてもらう。

## 2 事業概要

(1) 事業期間 平成 26 年 7 月 31 日から平成 27 年 2 月 28 日まで

(2) 実施箇所 静岡市立日本平動物園（静岡市駿河区池田 1767 - 6）

(3) 実施内容 「日本平動物園マニアガイド」の作成

①対象者 静岡市立日本平動物園来園者

②内容 大判で情報量の多い、日本平動物園全体のマニアックな情報と楽しみ方をわかりやすく、面白く提案できる冊子を作成する

A4 サイズ、32 ページ、フルカラー、中綴じ

電子書籍版（PDF、ePUB）も並行して作成。動物園、いきもの企画の HP にて配布

③対象施設 静岡市立日本平動物園

④その他 「日本平動物園マニアガイド」の内容、デザイン等の詳細は、別途、受託者と静岡市が協議を行う。

(4) 実施スケジュール

- ①企画 7月20日～
- ②制作 7月23日～
- ③打合せ
  - 1回目 7月23日 / 2回目 11月26日
- ④調査・撮影
  - 1回目 8月26日 / 2回目 9月21日
- ⑤印刷
  - 入稿 12月29日 印刷物納品 1月9日
- ⑥日本平動物園へ納品 1月9日
- ⑦周知の為、告知用素材提供 1月10日
- ⑧配布 1月11日より園内各館で配布開始
  - 配布終了 1月27日
- ⑨報告書の作成 平成27年2月

### 3 提言・提案

#### (1) はじめに

古くてボロボロの檻越しに動物をみる時代は終わりつつある。

現在は、動物園ブームといわれることも多く、都市部や大規模な動物園だけでなく、地方都市でも、小さな動物園でも工夫を凝らした展示で人々を楽しませている。地方動物園の話題を全国ニュースで聞くことも多くなってきた。

日本平動物園もその中のひとつで、2013年春のグランドオープン後は着々と来園者数を増やしている。平日には動物マニアだらけだった園内も、多くの親子連れやカップルが訪れるようになり、雰囲気が大きく変わってきた。

今後は、新たな「日本平動物園マニア」をつくることが重要ではないか

#### (2) 「動物園マニア」とは

我々の考える「動物園マニア」とは、「動物園から学ぶという楽しみ方を知っている人」とした。

#### (3) 「大人向けのガイド」

大人を対象とした動物園の楽しみ方を提案したのは、大人が動物園に対し、「ただ動物がたくさんいる場所」というイメージだけでなく、「興味深く、楽しむ方法がたくさんある場所」という認識を持つことによって、子供に質問されたときに「一緒に調べよう」「動物園の人に聞いてみよう」「まずは自分たちで想像してみよう」という発想が生まれるからである。そして、子供は身近な大人（例えば両親やおじいちゃん・おばあちゃん、先

生や近所のおじちゃん・おばちゃんなど) から、その人の言葉で教わるのが、一番自然で、知識が身につく、思い出や記憶に残るのではないかと考えているからである。

また、経験上、動物園マニアになる子供は、子供向けの資料よりも、大人向けに書かれたものの方が喜び、楽しめるように思うため、大人とともに子供も楽しめるものを作成した。

#### (4) 「何度来ても楽しめる場所」だと知ってもらおう

この事業で、来園者に日本平動物園の新たな楽しみ方を知ってもらい、「動物園は何度来ても楽しめる」という大人のリピーターを増やすことを目指した。

また、「動物園から学べることがある」「知ることは楽しいことだ」ということを知ってもらい、「かわいい・かっこいい」の先にある好奇心や学びに目を向けてもらう。

「動物園は年に数回、ぐるりと園内を見て、お弁当を食べて帰る場所」という楽しみ方は、数多くある動物園の楽しみ方の、ほんの一部であり、もっと多くの楽しみ方と学ぶべきものがある、市民にとって大切な場所だと感じてもらう。

#### (5) 実施の結果

実施前、日本平動物園担当者より、「来園者目線で作成したい」という意見をもらった。

動物園がすでに提供している情報はたくさんある。我々自身も、園内の案内板やリーフレットで学んだことが数えきれないほどあるので、それを実感している。

改めて、来園者や最終目標であるマニアな目でしか見出せない情報を提供しなければ意味がないと思った。

そこで、飼育に携わる担当者から聞き出すよりも、自分たちで調査、園内を隈無く見てまわるなど、「市民の目での再発見」をテーマとした方法をとることにした。

結果、一般的な動物種の説明よりも、「日本平動物園の」展示種、個体に深く着目した内容になったが、この自由な作風を認めてもらえたことが大変ありがたく、とても嬉しかった。動物園と一緒に、新しい切り口でこの冊子を作成できたことに、協働の意義を感じた。

また今回は電子書籍版を、ネットを介して SNS ユーザーなどにも見てもらえたことがよかった。前回の冊子配布だけよりも、やはり広がりを感じた。

### 4 協働相手である日本平動物園担当者よりいただいた意見・感想

#### (1) 制作に関して

いきもの企画様が独自に資料を集め、編集されていることで、動物園側に捉われずに制作者の視点や考え方がしっかりと伝わるものになっています。動物園として不足している部分を補完しているという点で、協働事業に相応しい成果品となっていると思いま

す。

本誌はいきもの企画様により制作したものではありませんが、園内での配布や動物園 HP からの DL が出来るという点から、市民（利用者）からは『日本平動物園で作ったもの』と受け止められる可能性があり、掲載内容については園による確認作業は欠かせないと思われます。ボリュームが多いだけに、慎重な内容確認作業のために、もう少し期間をいただけると助かりました。

## (2) 配布に関して

当園で配布台を設置し、説明文をつけて配布しました。配布方法を園に任せていただいたので、園の動線を考慮し、園にあるものを使って配布をしたため、負担なく実施することができました。

一方で、『来園者がより手に取りやすくするためには』『手に取った冊子をより効果的に読んでもらうには』といった視点やアイデアが当園では不十分であり、配布の方法を工夫したり、相談できると一層効果的な事業になったと思われます。

## (3) 来園者の反響、反応等

設置と同時に多くの来園者が手に取っており、予想以上に早いペースで配布が終了しました。家族連れの方などは皆で1冊の本を見ながら動物の話をしている様子も見られました。動物園協会フェイスブックでの書き込みで「欲しい」という声がありました。

また、周囲の人間から「まだ残っているか」と問い合せもありました。動物園が好きなユーザーは、インターネット等で情報をキャッチしており、注目が集まっていました。

配布期間中に園内ゴミとして冊子が捨てられていることがなかったため、手に取った方はきちんと持ち帰っているものと思われます。

本紙のタイトルを見て「動物園のマニアの人が読む本かな？」と話している来園者が見られました。コンセプトについての、こちらの PR が不十分でした。

## (4) 冊子について感想等

内容がしっかりしており、情報量も豊富です。また、写真やレイアウトなども良く、手に取りやすく保存性が高い冊子となっていると思います。

園職員も細かく丁寧に調べ上げられていることに驚きながら読んでいます。

現在当園では学校向けの誘客策として、先生が子ども達をガイドできるようなプログラム作りに取り組んでいます。職員から、そのような面でも本紙を活用したいという声がありました。

#### 4 来園者の感想

- ・前回のもっとメモに続き、今回もとても良い出来だと思います。このような冊子を定期的に発行して欲しいです。(男性 20代)
- ・最新情報を知りたいです。たとえば、これから行われる新施設の計画等。(男性 30代)
- ・鳥類が苦手なので、アップの写真が怖かったです(女性 50代)
- ・電子版で拝見しましたので、是非A4版も手に入れたいと思いました。(女性 40代)
- ・面白く為になった(男性 40代)
- ・とてもよかったです また出してほしい(男性 40代)
- ・有名なホッキョクグマやレッサーパンダではなく、あまり注目されていない動物の情報が多くてうれしかったです。動物と一緒に、担当スタッフも載ってたらもっとうれしいです。(女性 20代)
- ・また作って欲しい(男性 30代)
- ・おもしろかった(女性 30代)

というものがあつた。

上記の意見を、今後の事業に活かしていきたい。

懸念されていた「マニアックすぎるのではないか」という声が、ここではなかったの  
で、楽しんでもらえてよかったと思う。

独自の調査として、もともとのマニア度と、『マニアブック』を読んだあとのマニア度を自身で比べてもらった。

・もともと

★11.1%

★★0%

★★★66.7%

★★★★22.2%

★★★★★0%

・読んだあと

★0%

★★0%

★★★11.1%

★★★★66.7%

★★★★★22.2%

内訳は、 1→3 (100%) 3→4 (83.3%) →5 (16.7%) 4→4 (50%) ※変化なし →5 (50%) となった。

概ねの人が「マニア度が上昇した」と感じてくれたことを確認できた。

次回動物園に訪れる楽しさに関わってくるので自覚してもらうことは大事だと考えている。

また、去年字が小さいという意見が多かったので最も気をつけた読みやすさに関しては、88.9%の人が「読みやすかった」と回答してくれたのでよかったと思う。

今回の情報量を考えると、制作にも確認にも時間が必要で、スケジュールがタイトになってしまった。(年末年始を含み、年明け早々に配布だったこともある)

昨年も感じたことだが、余裕を持ったスケジュールを組めるとより良い事業になると思う。

#### 5 協働・協力機関

静岡市立日本平動物園

#### 6 担当スタッフ

いきもの企画

- ・制作：橋詰茉莉亜、川口瑠衣、宮原智未
- ・その他スタッフ：山崎、池ヶ谷、中村、小柳